

事故その他の事象(鉱害含む。)の措置情報

番号	災害等発生鉱山管轄産業保安監督部名	都県名	発生年月日時間	鉱種	鉱山労働者数 A:9人以下 B:10～49人 C:50～99人 D:100人以上	事故その他の事象の種類	原因となった装置・施設等	ハザード(危険の内容)	事故その他の事象の種類	リスクマネジメント実施状況(発生前)	原因	対策	詳細情報1
1	関東	栃木	H18.10.18 12:00	石灰石	D	坑廃水	か焼場 場内雨水等排出施設 (場内側溝)	汚濁水の管理	か焼場建家内、添加液タンク周囲の床面を水洗した際に発生したアルカリ性の汚濁水が道路側溝経由で河川に流出し、河川のpHが上昇、ウグイ等の小魚約20kgが斃死した。	今回の作業(床面水洗)に関しては作業者の思いつきで行われたもので、事前のリスクマネジメントは実施していない。	か焼場床面にたい積していた粉じんは主に消石灰であったため、床面洗浄水が強アルカリ性となり、これを無処理のまま排出したことにより、河川のpHを上昇させ小魚が斃死した。背景的な要因として、 ・工場内にたい積した粉じんの特性や場内側溝の排水系統についての教育が不十分だったため、清掃作業担当者が床面水洗に伴うリスクを把握していなかったこと。 ・作業指示の際、上司が保安対策について特に指示せず、また一人作業だったこともあり、作業実施前のリスクアセスメントが十分に実施されていなかったこと。	現況調査等の結果を踏まえ、次の対策を実施。 ・添加液タンク周囲に設置してあった防液堤のかさ上げ実施及び集水ピットを新設し、溶液類の場外流出防止を強化する。 ・作業標準の改訂(漏液の回収作業、か焼場建家内における床水洗の禁止、鉱煙及び排水の基準超過時の対応) ・保安教育の実施(改訂版作業標準、消石灰等の性状、取扱等) ・非常時作業時における保安管理体制の整備 ・場内側溝の清掃、排水管理の強化(新たな測定器の購入を含む)	—